

# 第9回 ESD大賞 募集要項

## —Education For Sustainable Development Award—

Education For Sustainable Development (ESD) は、「持続可能な社会の担い手を育む」教育といわれています。持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材の育成が重要な課題となっています。

その人材育成のためには、ESD（持続可能な開発のための教育）が学校現場において正しく理解され、さらにそれに基づいた望ましい実践が普及されることが強く求められています。

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しています。学校全体での取り組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かした実践例などを広く募集いたします。

ESDに取り組む学校がますます増加していることをふまえ、昨年より、新たに2賞を設けました。下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

**[主 催]** NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

**[後 援(予定)]** 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、  
(公財) ユネスコ・アジア文化センター、(公社) 日本ユネスコ協会連盟

### **[中央審査委員]**

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 理事

佐野金吾（元全日本中学校長会会長、一般社団法人全国図書教材協議会会長）

北 俊夫（一般財団法人総合初等教育研究所参与）

木曾 功（元ユネスコ政府代表部特命全権大使）

田村哲夫（前日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長）

濱野 清（国立教育政策研究所教育課程調査官）

手島利夫（前江東区立八名川小学校校長、日本 ESD 学会副会長）

齋藤英行（株式会社教育新聞社社長）

岡山慶子（朝日エルグループ会長）

文部科学省 国際統括官付

### **[募集内容と実践研究対象]**

「ESD大賞」設定の趣旨に基づいて、持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材を育てる実践研究事例の報告を募ります。

### **○実践研究の対象**

小学校、中学校、高等学校における ESD の実践事例報告であること。

- ① ESD の全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わる ESD の実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わる ESD の実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わる ESD の実践研究。
- ⑤ ESD における教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESD における家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの登録申請を検討している。

### **[対 象]**

全国の小学校、中学校、高等学校を対象とします。

## [顕彰]

応募いただいた事例の中から、中央審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。(応募フォーマットは、すべての賞共通です)

<u>・文部科学大臣大賞</u>	<u>1校(すべての校種を対象)</u>
・ユネスコスクール最優秀賞	1校(ユネスコスクールのみ対象)
・小学校賞	1校
・中学校賞	1校
・高等学校賞	1校
* ベスト・アクティビティ賞	1校
* スタートアップ賞	1校(ユネスコスクール加盟3年未満のみ)

### \* 「ベスト・アクティビティ賞」とは

学校や地域の特性を生かしたオリジナリティのある活動、他の学校にも生かせるアイデアに富んだ取組を(一つでも)行っている学校に対して賞を贈ります。学校全体・教科横断等の広がりはこれから、という学校でも積極的にご応募ください。

### \* 「スタートアップ賞」とは

ユネスコスクール加盟3年未満(加盟していない学校を含む)の学校のみを対象とします。現在の成果や実績よりも、活動内容や今後への期待を評価の重点ポイントとします。

## [応募方法]

※応募フォーマットが昨年と異なりますのでご注意ください。

- 1) 応募フォーマット(すべての賞共通)に必要な事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料(年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真)を同封してください。ただし、A4判で5頁以内とします。
- 3) 上記資料をE-mail、郵送(CD-R等)のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。

## [資料送付先・事務局]

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム ESD 大賞 事務局 担当: 高木・三枝  
〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地 MF ビル 26 号館 5 階  
TEL: 03-3545-3651 FAX: 03-5565-4914 e-mail: info@jp-esd.org

## [スケジュール(予定)]

10月10日(水) 〆切(事務局必着)

↓ 審査

11月上旬 発表は、事務局から受賞校へのご連絡をもって代えさせていただきます

↓

12月8日(土) 第10回ユネスコスクール全国大会/ESD 研究大会にて授賞式を行います

## [教材の作成と配布]

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき（B5判で各校3～5頁）、冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ユネスコスクールをはじめ、ESDに興味をもつ学校に配布する予定です。

## [第8回 ESD 大賞受賞校とテーマ]

文部科学大臣賞	福岡県大牟田市立吉野小学校	地域の活性化を図るための地域との協働～桜プロジェクトを中心とした取組～
ユネスコスクール最優秀賞	千葉県立桜が丘特別支援学校	「つながろう」桜が丘から 地域へ 世界へ そして未来へと～共生社会の構築をめざして～
小学校賞	東京都大田区立赤松小学校	心豊かで、主体的に活動する、国際社会の一員としての自覚をもった子供の育成」学びを創る～ESDの充実を通して～
中学校賞	埼玉県さいたま市立大宮八幡中学校	ESD「持続可能な社会の担い手としての自覚を持った生徒の育成」～地球規模で考え、足もとから行動～
高等学校賞	神戸大学附属中等教育学校	「地球の安全保障」をテーマとしたグローバルキャリア人の育成
ベスト・アクティビティ賞	北海道札幌平岸高等学校	円山動物園と連携したデジタル絵本の制作と読み聞かせ活動
スタートアップ賞	宮城県仙台市立郡山中学校	安全・安心な地域づくりに資する中学生が主導する防災教育と地域防災訓練
ネスレ日本ヘルシーキッズ賞	東京都目黒区立田道小学校	健康教育からアプローチする ESD
ネスレ日本ヘルシーキッズ賞	大阪府泉南郡岬町立深日小学校	子どもの体力づくりと食育・健康教育を中心にした学校づくり

※各校の実践事例の詳細は、[http://www.jp-esd.org/img/2017\\_ESD-jissen\\_8\\_web.pdf](http://www.jp-esd.org/img/2017_ESD-jissen_8_web.pdf) からご覧いただけます。